

給付金情報のディスカッション論点例

資料5

Zaim・マイ広報紙など活用企業・団体が出始めているが、情報の所在やデータ項目・フォーマットなどがバラバラで、収集・整理に多大な労力を要している。2017年11月にオープンガバメント推進協議会（※）の取り組みとして、給付金情報の共通フォーマット案を作成し、室蘭市・浜松市・日南市が導入。千葉市も導入予定。今後、このフォーマットの普及促進を図ることで、給付金情報の活用が進む可能性がある。

※オープンガバメント推進協議会概要

- ・「ビッグデータ・オープンデータの具体的活用策の検討及び活用推進」や「マイナンバー制度の利活用の推進」に資する取り組みを行う自治体組織。様々な事業が立ち上がっており、各事業に希望自治体が参画する仕組みとなっている。シンポジウム実施やコンテストとの連携等も行っている。
- ・2018年1月現在、千葉市を事務局として、武雄市、千葉市、奈良市、福岡市、三重県、室蘭市、大津市、弘前市、横須賀市、郡山市、日南市、浜松市が参加。

給付金情報のディスカッション論点例

1. オープンガバメント推進協議会フォーマットに対するご意見（参考資料 参照）

- ・共通フォーマットとしての採用可能性
- ・公開側（自治体）の意見
 - オープンガバメント推進協議会フォーマットは全庁の給付金制度を扱うため、各部署の制度情報を収集・整理するのに負担がかかる。
 - 多くの自治体が給付金制度webページに載せている「申請できる人」「申請方法」などの項目がない。 など
- ・利用側（企業等）の意見

2. オープンガバメント推進協議会フォーマットの普及方策について

- ・IT総合戦略室 推奨データセット（ベータ版）への追加
- ・オープンデータ伝道師、VLEDやBODIK等推進団体による紹介・研修
- ・都道府県単位での共通フォーマットによる公開促進
- ・活用企業を増やす（次項参照）

3. 給付金情報の活用拡大方策について

- ・企業が使いやすい給付金情報の出し方（項目、公開方法（csv・API等）など）
- ・ラウンドテーブルなど官民マッチングの場の活用
- ・共通フォーマットで給付金情報を公開する自治体の拡大（前項参照）